

平成21年度食の安全・安心に関するアンケート集計結果

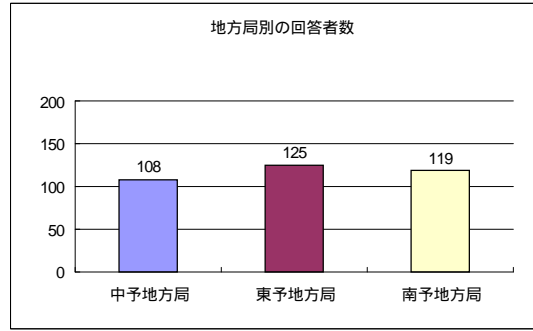
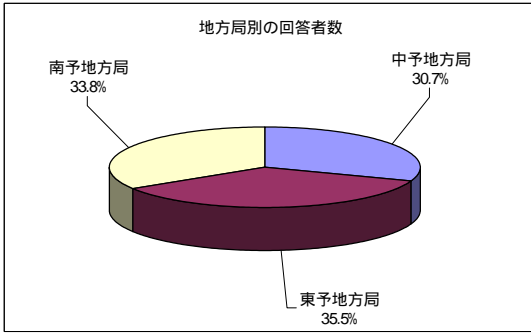
実施方法

別添アンケート調査票を使用して実施

実施対象者

平成21年度食の安全・安心県民講座参加者 446名  
アンケート回答者数 352名(回答率78.9%)

(参考) 地方局別の回答者数

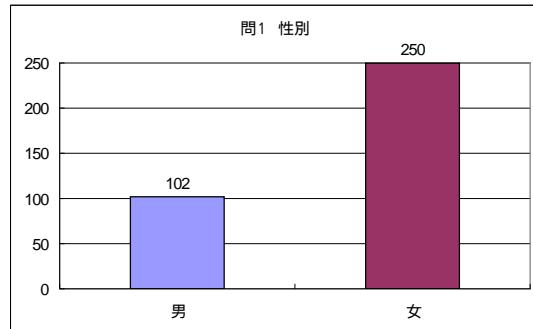
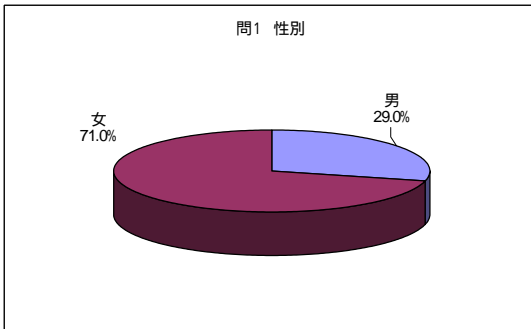


実施期間

平成21年10月27日～11月4日

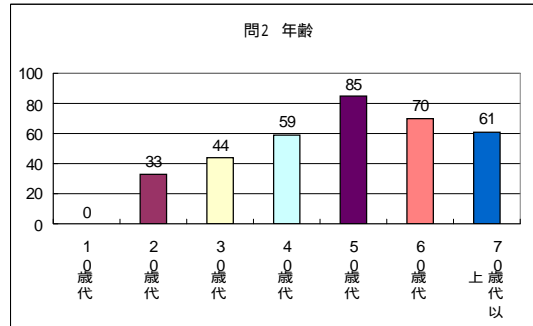
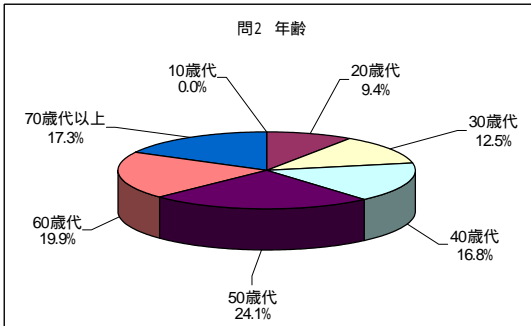
アンケート集計結果

問1 あなたの性別はどちらですか。



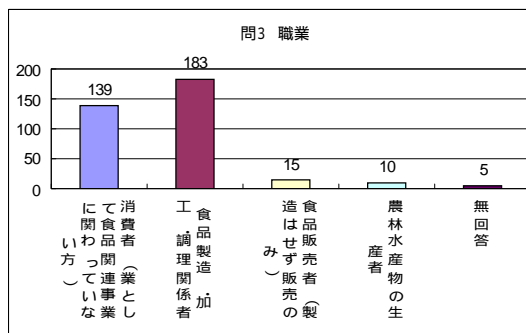
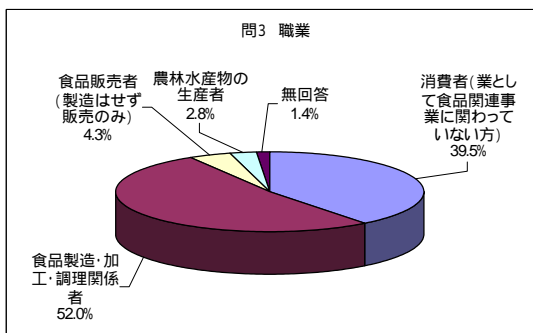
性別は、「男性」102名(29.0%)、「女性」250名(71.0%)であった。

問2 あなたの年齢はどれに該当しますか。



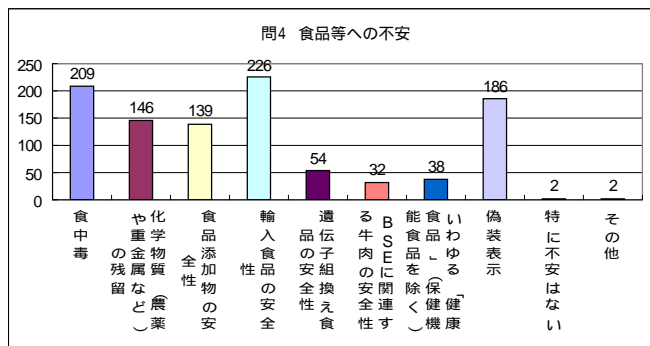
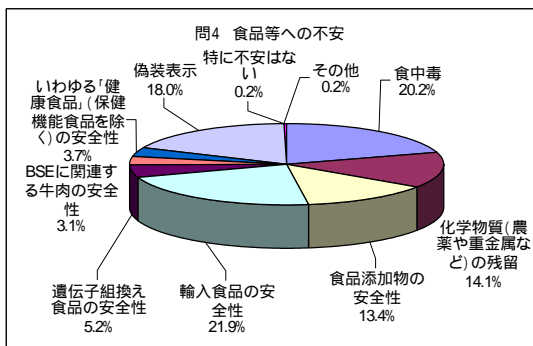
年齢は、「10歳代」(0.0%)、「20歳代」(9.4%)と若年齢層が少なく、「50歳代以上」が216名(61.4%)と全体の半数以上を占めた。

問3 あなたご自身について回答してください。



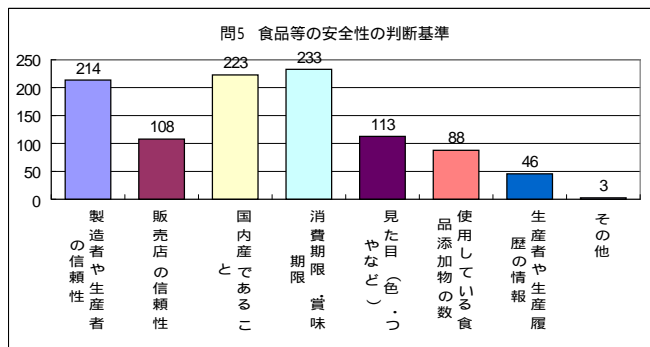
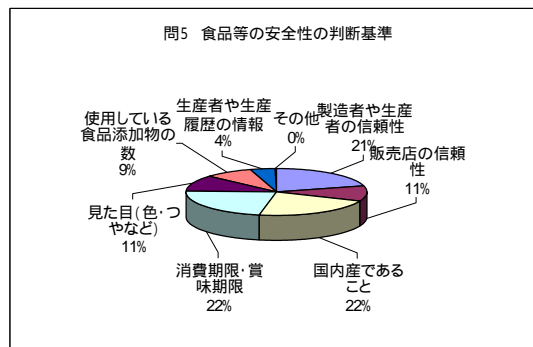
職業は、「食品製造・加工・調理関係者」(52.0%)、「消費者」(39.5%)、「食品販売者」(4.3%)、「農林水産物の生産者」(2.8%)、「無回答」(1.4%)であった。

問4 あなたが、食品等の安全性について不安を感じていることを3つあげてください。



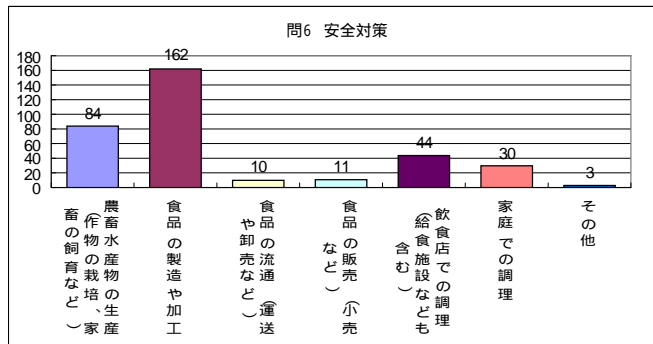
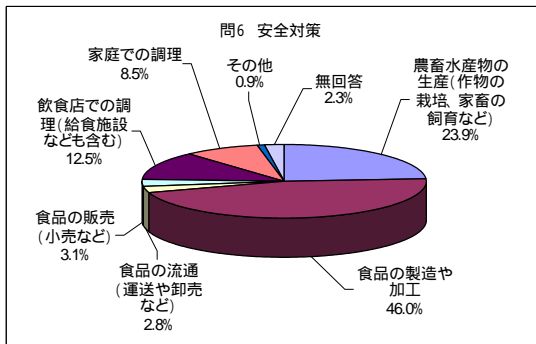
食品に対する不安事項の上位には、「輸入食品の安全性」(21.9%)、「食中毒」(20.2%)、「偽装表示」(18.0%)が入っており、例年の調査結果と差異はない。  
 なお、「輸入食品の安全性」は、昨年度に続き1位となっており、昨今の輸入食品に関する問題を受け、消費者の不安感が現れた結果となっている。  
 また、「その他」として、「異物混入」や「アレルギー」という意見もあった。

問5 あなたは食品等の安全性について、どのような点を基準に判断していますか。3つあげてください。



食品等の安全性を判断する基準は、「賞味期限・消費期限」(22.7%)、「国内産であること」(21.7%)、「製造者や生産者の信頼性」(20.8%)が上位を占めている。  
 また、「その他」として、「表示の信頼性」という意見があった。

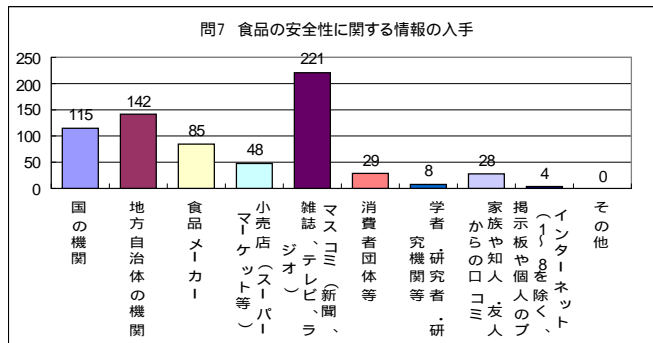
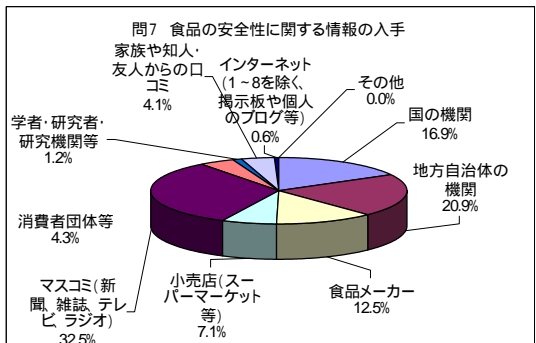
問6 原材料の生産から食品の消費までの各段階で、食品の安全性確保のために、あなたが最も重要だと考えるのはどの段階ですか。



食品の安全性確保については、「食品の製造や加工」(46.0%)の段階での対策が重要だと考えている人の割合が半数近くを占めている。続いて、「農畜水産物の生産(作物の栽培、家畜の飼育など)」(23.9%)となっており、原材料の生産や食品の製造・加工の段階での安全性対策が重要と考えている人が多いことがわかる。

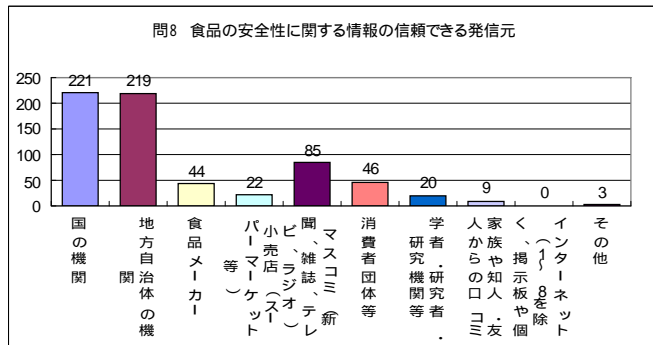
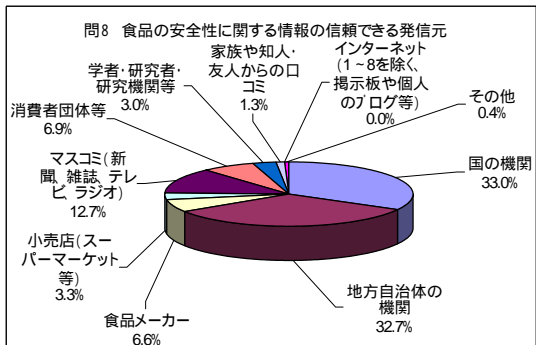
また、「その他」として、「正しい商品知識を国民全員が共有すること」、「消費者の理解や知識・対応等(特に母親が重要)」という意見があった。

問7 あなたは食品の安全性に関する情報について、どこから得ることが多いですか。主なものを3つあげてください。



食品の安全性に関する情報の入手先は、「マスコミ(新聞、雑誌、テレビ、ラジオ)」(32.5%)、「地方自治体の機関」(20.9%)、「国の機関」(16.9%)、「食品メーカー」(12.5%)が上位を占めている。

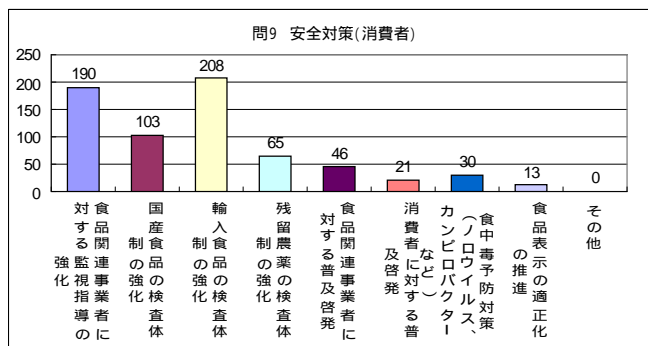
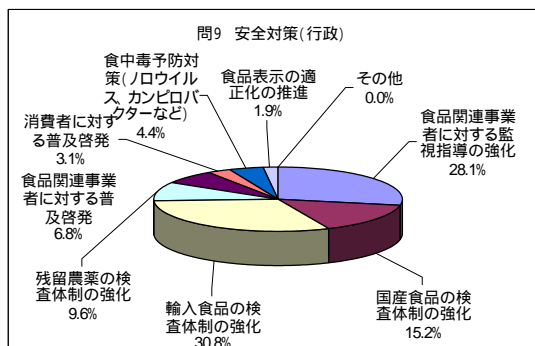
問8 あなたは、食品の安全性に関する情報について、どこからの情報なら信用できますか。信用できると思うものを3つあげてください。



上位は「国の機関」(33.0%)、「地方自治体の機関」(32.7%)、続いて「マスコミ(新聞、雑誌、テレビ、ラジオ)」(12.7%)となっている。

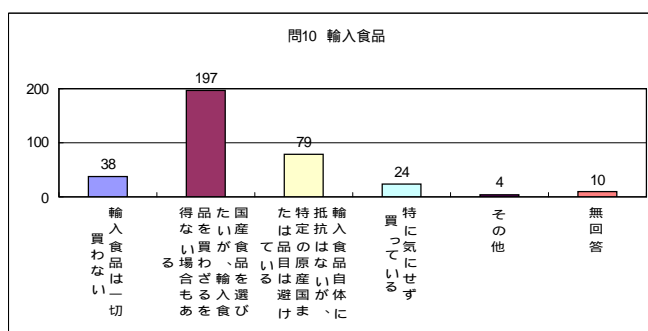
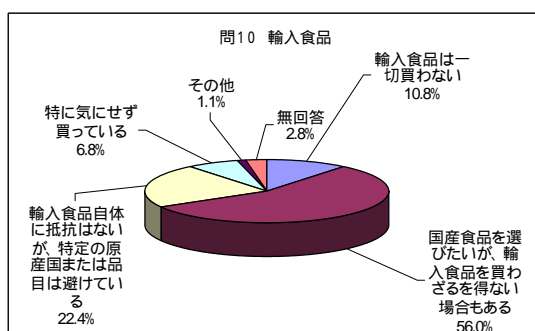
また、「その他」として、「信頼できるところはないように思う」という意見があった。

問9 食品の安全性確保について、あなたが行政に期待することを3つあげてください。



「輸入食品の検査体制の強化」(30.8%)、「食品関連事業者に対する監視指導の強化」(28.1%)、「国産食品の検査体制の強化」(15.2%)、「残留農薬の検査体制の強化」(9.6%)となっており、行政に対しては食品の検査や食品事業者の監視体制の整備が強く求められている。

問10 輸入食品に関する考え方について、あなたの気持ちに最も近いものを1つ選んでください。

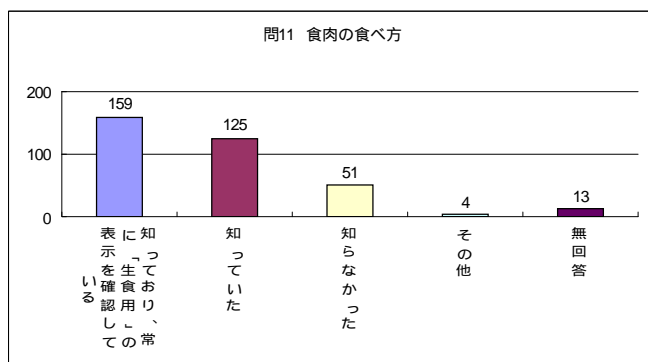
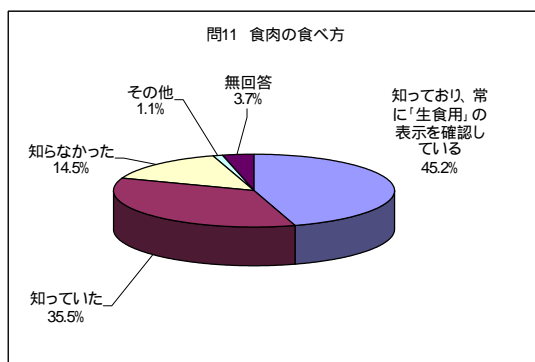


輸入食品に関する考え方は、「国産食品を選びたいが、輸入食品を買わざるを得ない場合もある」(56.0%)、「輸入食品自体に抵抗はないが、特定の原産国または品目は避けている」(22.4%)、「輸入食品は一切買わない」(10.8%)となっている。

また、「その他」として、「自給率40%の状況下では輸入食品を意識的に100%避けることは不可能(外食・加工食品等)」という意見があった。

問11 食肉には鮮度に関係なく、O157やカンピロバクターなど様々な細菌が付着しています。そのため生レバーやヨックなど、生のまま食べることを前提とした食肉には特別な衛生基準が設定されています。

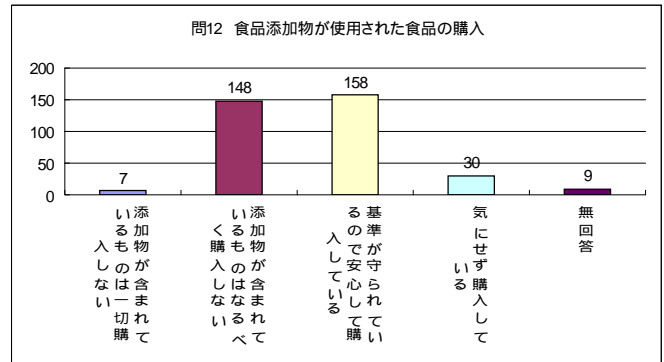
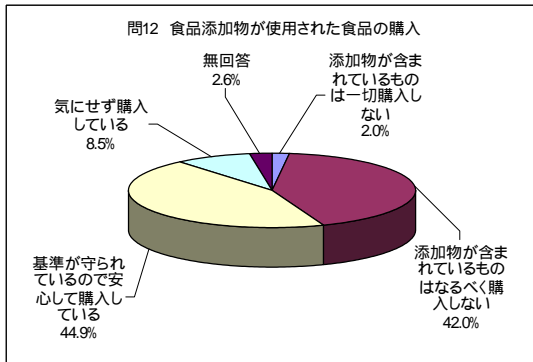
その基準に適合しない食肉を生で食べた場合、鮮度に関係なく食中毒になるおそれがあります。あなたはそのことをご存知でしたか。あなたの気持ちに最も近いものを1つ選んでください。



「知っており、常に「生食用」の表示を確認している」(45.2%)、「知っていた」(35.5%)となっており、約8割の人が基準に適合しない食肉を生で食べると食中毒になるおそれがあることを把握していたが、一方で少数ながら「知らなかった」(14.5%)という回答もあった。

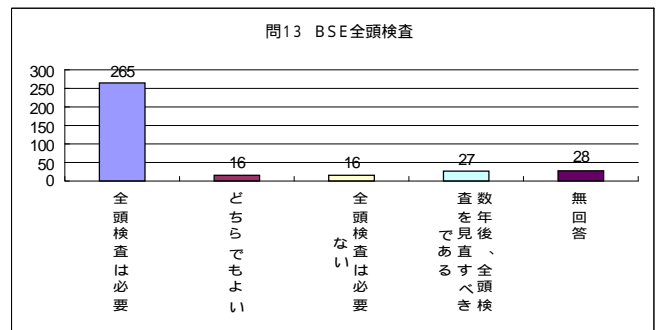
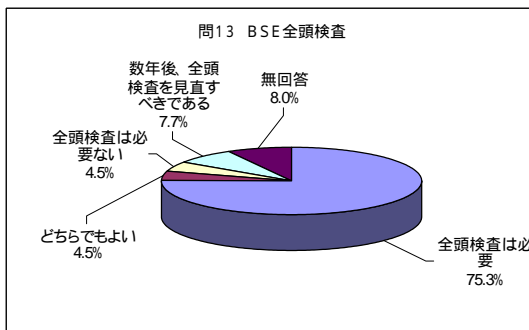
また、「その他」として、「生肉は食べないこととしている」という意見があった。

問12 食品添加物については国が厳格な基準を設定し、安全性が確認されたもののみ使用が認められているところですが、添加物に対する考え方について、あなたの気持ちに最も近いものを1つ選んでください。



「添加物が含まれているものはなるべく購入しない」(42.0%)、「添加物が含まれているものは一切購入しない」(2.0%)と、購入時に食品添加物の使用を判断基準にする人と、「表示されていても基準を守っている物なので安心して購入している」(44.9%)、「気にせずに購入している」(8.5%)と、購入時の判断基準にはしない人はほぼ同数となっている。

問13 国では、平成17年8月に、それまで行ってきた牛海綿状脳症(BSE)の全頭検査を見直し、21ヵ月齢未満の牛を検査対象から除外しました。また、最近では、平成21年5月に国際獣疫事務局(OIE)は、日本産牛のBSEの危険性について、危険性の低い「管理されたリスクの国」に認定しました。愛媛県では食肉に対する安全・安心の確保等を考慮し、現在も全頭検査を継続していますが、以上のことを踏まえ、今後のBSEの検査体制について、どのようにお考えですか。次の中から一つ選んでください。



「BSEの全頭検査は必要である」との意見が、75.3%と多数を占めている。主な理由、意見は次のとおり。

- 「BSEの全頭検査は必要である」と回答した理由・意見
- ・100%安全な肉を食べたい。
  - ・1頭1頭体質が違うからです。
  - ・安全安心のためBSEは21ヶ月齢未満の牛も検査して欲しい。
  - ・国の姿勢を明確にすることで、安全確保が継続されると考える。問題は輸入牛と考えるが、それも厳格にやってほしい。
  - ・飼料等の関係で突発する可能性がないとはいえないので必要であると思います。
  - ・全頭検査をする、しないを判断するほどの根拠が集まっていないように思うから。
- 「どちらでもよい」と回答した理由・意見
- ・全頭検査の必要の有無を判断できるほど情報を知らない。リスク、コスト等を理解した上での判断が必要ではないでしょうか。
  - ・他県の状況を踏まえ検査すればよい。
  - ・日本の品質基準なら問題はおきないと思うから。
- 「BSE全頭検査の必要はない」と回答した理由・意見
- ・安全性のリスクには全頭検査は無意味である。
  - ・きちんとデータが揃って除外できるものがあればよい。
  - ・これに係る経費は他に使用することが全体として効果があがる。
- 「数年後、BSE全頭検査は見直すべきである」と回答した理由・意見
- ・牛トレ法によりBSE自体が国内から駆逐された段階で見直すべき。それよりもBSEを確率論でとらえている米国産牛肉の輸入を禁止すべき。
  - ・過去のデータに基づき、検査にかかる費用、手間と安全性を比較し、議論された選択をすべきである。
  - ・現在はまだ不安があります。それは外国で生まれ、ある程度まで大きくし、日本に輸入して何年か大きくし、消費者に出して国内産と表示されることに疑問があるため。
  - ・国内の給餌状況、発生状況を検証した上で、BSE検査を世界標準に合わせるべきである。